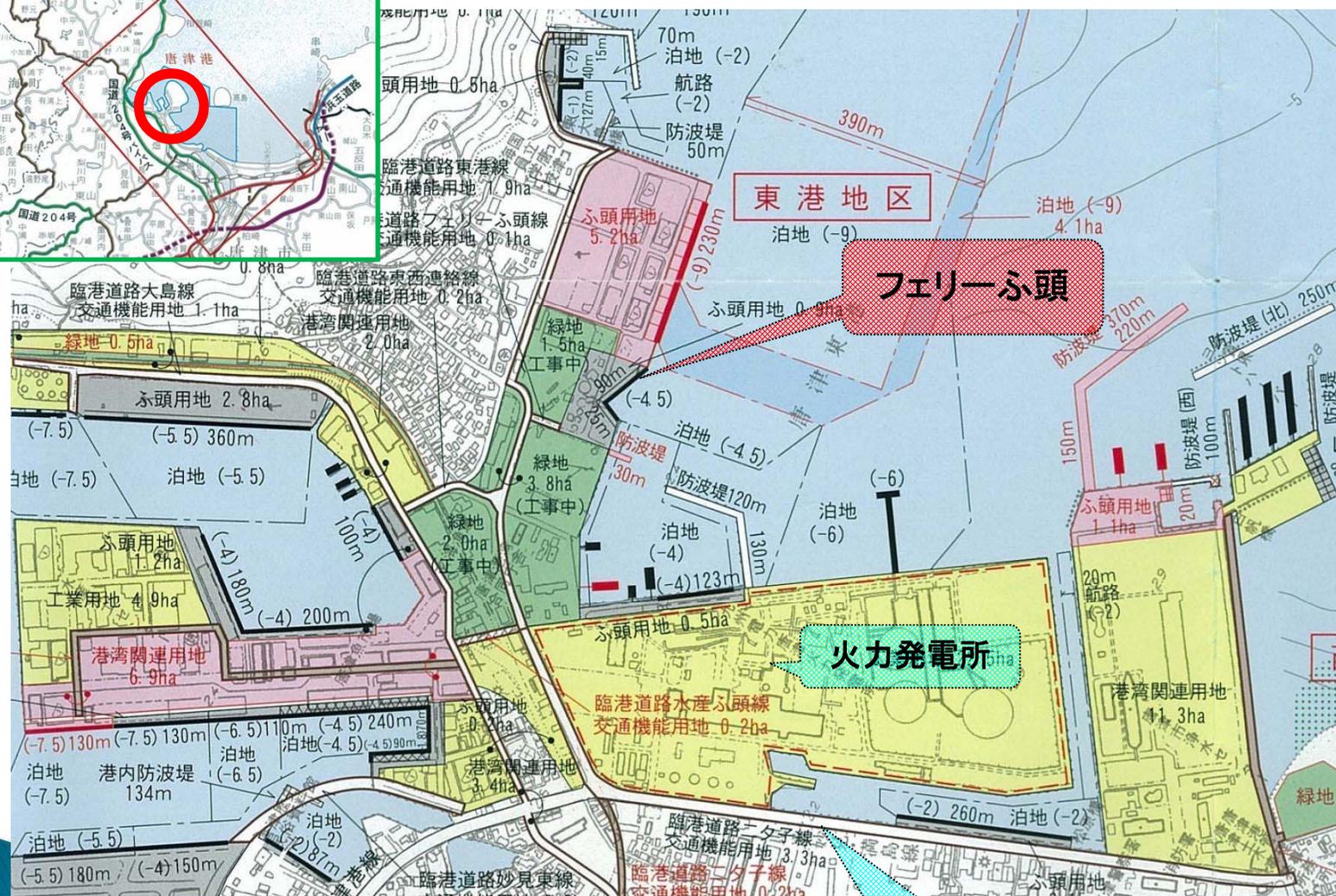


公共事業に係る効果等について

港湾施設改良費統合補助事業
唐津港東港地区

(港湾課)

○事業位置



凡 例	
	航路・泊地 (今回計画)
	航路・泊地 (既設)
	防波堤 (今回計画)
	防波堤 (既設)
	公共岸壁 (今回計画)
	公共岸壁 (既設)
	物資補給岸壁 (既設)
	公共耐震強化岸壁 (今回計画)
	公共物揚場 (既設)
	専用岸壁 (既設)
	ドルフィン (既設)
	小型さん橋 (今回計画)
	小型さん橋 (既設)
	海浜 (今回計画)
	海浜 (既設)
	ふ頭用地 (今回計画)
	ふ頭用地 (既設)
	緑地 (今回計画)
	緑地 (既設)
	その他緑地 (既設)
	交通機能用地 (今回計画)
	交通機能用地 (既定計画)
	交通機能用地 (臨港道路)
	交通機能用地 (既設)
	その他道路 (既設)
	その他の用地 (今回計画)
	その他の用地 (既設)
	施設撤去 (今回計画)
	自然環境整備・保全ゾーン
	利用形態の見直しの検討が必要な区域

臨港道路

○事業概要

- 事業名 港湾施設改良費統合補助事業
- 箇所名 唐津港東港地区
- 所在地 唐津市東大島町
- 工期 平成14年度～平成18年度
- 総事業費 約25億円
- 事業内容 フェリーふ頭整備
 - 岸壁(−4.5m)115m、泊地(−4.5m)2,000m²
 - 可動橋 18.5m
 - 歩廊橋(ホーディングブリッジ)17.5～21.5m

(唐津市) ターミナルビル 鉄筋コンクリート 3階建

○背景と目的

呼子港では、

- フェリー発着所までのアクセス(旅客・貨物)に時間がかかる

よって

- 利用者の大半においてアクセスしやすい港へ発着所を移転し、アクセスの向上を図る

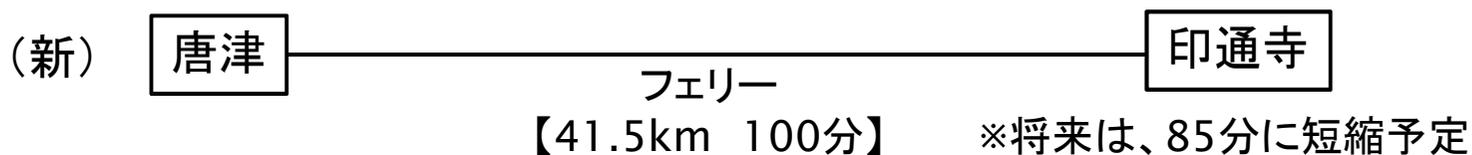
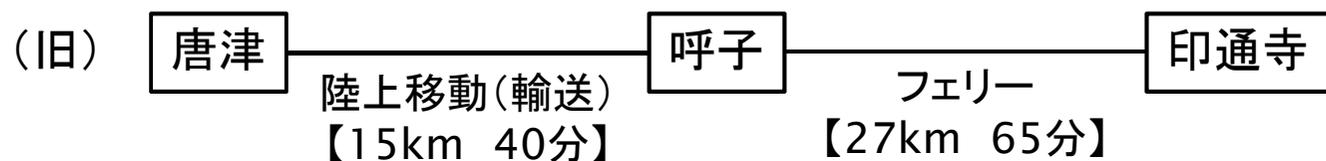
そのため

唐津港東港への移転

- 利用者の大半にとってアクセスしやすい

○事業の効果(1) フェリーへのアクセス向上

- 旅客移動時間が減少(5分短縮、年間約5,700万円の効果)
- 貨物輸送費用が減少(年間約1億1,000万円の効果)



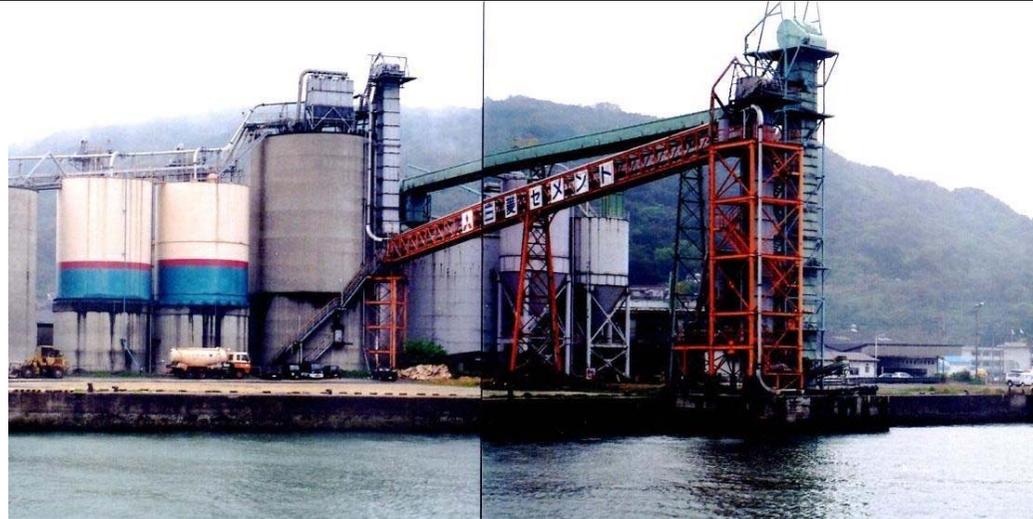
○事業の効果(2) 呼子地区臨港道路

- 呼子港フェリー利用車両台数 約120台/日が無くなり、呼子地区臨港道路の混雑が緩和



○事業の効果(3) 唐津港 東港地区

➤ 唐津の海の玄関口として、景観的にもふさわしい姿に変貌



○事業の効果(4) 唐津港 東港地区

➤ フェリー利用者の利便性向上



岸壁の延長増により、船舶が大型化

バリアフリーにも対応

エレベーター、バリアフリー席、
車いすスペース等を完備



ボーディングブリッジの新設により、
乗降者の利便性が向上

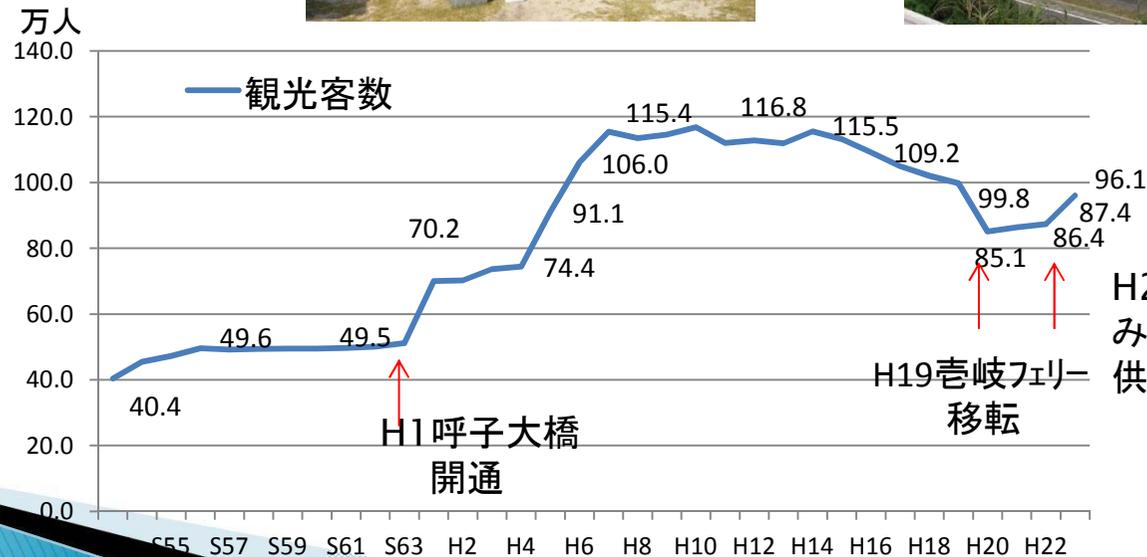


大型バスへの乗り換えが楽になり、
フェリー利用者の利便性が向上

○呼子港 旧フェリーふ頭の新たな姿

➤ 他事業による跡地利活用にて、地域の活性化に役立っており、観光客も回復傾向にある。

旧フェリー
ふ頭



○県民の意見

【メリット】

○フェリー発着所までのアクセスがスムーズとなった。

○自家用車等駐車場が確保され、利用しやすくなった。

【デメリット】

○呼子地区への人流が減少した。

なお、跡地利用により、観光客数は回復傾向にある。